

分野	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必修 選択	配当年	配当期	授業形態 (主)	備考	教職	建築士			
		2022	2023									形態	意匠	設備	構造
専門研究	建築学特別設計 I	随時	随時	1	2	選(※)	1	通年	演習	修士課程を修了するためには、「高度専門プログラム(研究コース)」又は「職能教育プログラム(スタジオコース)」のいずれかを択一必修として、履修、合格しなければならない。入学時に決定したプログラム(コース)は、在学中変更できない。 ※高度専門プログラム(研究コース)履修者は「建築学特別研究 I・II」の修得が必要である。また、「建築学特別設計 I・II」は履修できない。 ※職能教育プログラム(スタジオコース)履修者は「建築学特別設計 I・II」の修得が必要である。また、「建築学特別研究 I・II」は履修できない。					
	建築学特別設計 II	随時	随時	1	2	選(※)	2	通年	演習						
	建築学特別研究 I	随時	随時	2	4	選(※)	1	通年	実験・実習						
	建築学特別研究 II	随時	随時	2	4	選(※)	2	通年	実験・実習						
空間 デザイン	建築空間論	○●		1	1	選	1・2	四半期(前後)	講義		工業	関講	○	○	
	建築意匠論		●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講	○		
	都市デザイン論	○●	○●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講	○		
	地域施設計画論	○	○	1	1	選	1・2	四半期(前前)	講義		工業	関講	○		
	近代建築論		○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講	○		
工学 デザイン	建築鋼構造論		○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義			関講			○
	建築ハイブリッド構造論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講			○
	建築構造設計論	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講			○
	コンピューターによる骨組解析論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義			関講			○
	建築環境形成技術論	○●		1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講	○		
専攻 共通科目	建築環境心理生理	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講	○	○	
	建築環境形成論	○●	○●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講	○		
	コンピューターデザイン論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講			○
	建築防災工学論		●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義			関講			○
	統計解析法		●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義						
	建築学実習 I	●	●	2	2(※)	選	1・2	半期(前)	実験・実習	※高度専門プログラム(研究コース)履修者は「建築学実習 I～IV」が履修可能。 ※職能教育プログラム(スタジオコース)履修者は「建築学実習 I～III」が履修可能。	工業	イン	○	○	○
	建築学実習 II	●	●	2	2(※)	選	1・2	半期(後)	実験・実習		工業	イン	○	○	○
	建築学実習 III	●	●	2	2(※)	選	1・2	半期(前)	実験・実習			イン	○	○	○
建築学実習 IV	●	●	2	2	選	1・2	半期(後)	実験・実習	工業		イン	○	○	○	

分野	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必修 選択	配当年	配当期	授業形態 (主)	備考	教職	建築士			
		2022	2023									形態	意匠	設備	構造
専攻 共通科目	建築学特別輪講Ⅰ	随時	随時	1	1	選	1・2	半期(前)	実験・実習						
	建築学特別輪講Ⅱ	随時	随時	1	1	選	1・2	半期(後)	実験・実習						
	建築学特別輪講Ⅲ	随時	随時	1	1	選	1・2	半期(前)	実験・実習						
	建築学特別輪講Ⅳ	随時	随時	1	1	選	1・2	半期(後)	実験・実習						
	建築技術・知識演習Ⅰ	○	○	1	2	選	1	半期(前)	演習	在学中に2級建築士を取得した場合は、「建築技術・知識演習Ⅱ」の単位を認定する。	工業	関演	○	○	○
	建築技術・知識演習Ⅱ	●	●	1	2	選	1	半期(後)	演習		工業	関演	○	○	○
	インターンシップⅠ	○	○	随時	2	選	1	四半期(前前) 四半期(後前)	実験・実習	(一級建築士資格要件の実務経験2年を取得する場合は、「インターンシップⅠ～Ⅵ」および「建築学実習Ⅰ～Ⅳ」の中から計14単位以上修得する必要がある。詳細は、「14.一級建築士資格要件」にて確認のこと。)		イン	○	○	○
	インターンシップⅡ	○	○	随時	2	選	1	四半期(前後) 四半期(後後)	実験・実習			イン	○	○	○
	インターンシップⅢ	○	○	随時	4	選	1	四半期(後前)	実験・実習			イン	○	○	○
	インターンシップⅣ	○	○	随時	4	選	1	四半期(後後)	実験・実習			イン	○	○	○
	インターンシップⅤ	○	○	随時	4	選	2	四半期(前前)	実験・実習			イン	○	○	○
	インターンシップⅥ	○	○	随時	4	選	2	四半期(前後)	実験・実習			イン	○	○	○
	建築学専門研修Ⅰ	●	●	随時	2	選	1・2	半期(前)	実験・実習						
	建築学専門研修Ⅱ	●	●	随時	2	選	1・2	半期(後)	実験・実習						
建築設計国際実習	○	○	集中	2	選	1	通年	実験・実習	集中講義			イン	○		
「豊かな 教養」 科目	デジタル放送論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義						
	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義						
	ITとビジネスモデルA	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義						
	ITとビジネスモデルB	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義						
研究科 共通科目	科学英語Ⅰ	○	○	集中	2	選	1・2	集中	演習	海外英語短期研修					
	Practical English for Global Engineers	○	○	1	2	選	1	集中	講義	1年生のみ履修可能					
	MOT概論	●		1	2	選	1・2	半期(後)	講義	e-campus科目					
	融合技術戦略特論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	集中講義					
	研究者倫理	○	○	1	2	選	1	半期(前)	講義						

注1)開講区分欄 「●○」=昼夜開講、「○」=昼間開講、「●」=夜間開講、「随時」=随時開講

注2)イン…インターンシップ科目(実務経験2年の場合は14単位以上、実務経験1年の場合は4単位以上修得のこと。)

関演…インターンシップ関連演習科目(上限8単位)

関講…インターンシップ関連講義科目(上限8単位)

分野	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必修 選択	配当年	配当期	授業形 態(主)	備考	教職	建築士			
		2022	2023									形 態	意 匠	設 備	構 造
専門研究	建築学特別設計 I	随時	随時	1	2	選(※)	1	通年	演習	修士課程を修了するためには、「高度専門プログラム(研究コース)」又は「職能教育プログラム(スタジオコース)」のいずれかを択一必修として、履修、合格しなければならない。入学時に決定したプログラム(コース)は、在学中変更できない。 ※高度専門プログラム(研究コース)履修者は「建築学特別研究 I・II」の修得が必要である。また、「建築学特別設計 I・II」は履修できない。 ※職能教育プログラム(スタジオコース)履修者は「建築学特別設計 I・II」の修得が必要である。また、「建築学特別研究 I・II」は履修できない。					
	建築学特別設計 II	随時	随時	1	2	選(※)	2	通年	演習						
	建築学特別研究 I	随時	随時	2	4	選(※)	1	通年	実験・実習						
	建築学特別研究 II	随時	随時	2	4	選(※)	2	通年	実験・実習						
空間 デザイン	建築空間デザイン論	○●		1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講	○	○	
	建築形態論		●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講	○		
	都市デザイン論	○●	○●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講	○		
	地域施設計画論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講	○		
	近代建築論		○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講	○		
工学 デザイン	建築鋼構造論		○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義			関講		○	
	建築ハイブリッド構造論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講		○	
	建築構造設計論	●		1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講		○	
	コンピューターによる骨組解析論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義			関講		○	
	建築環境形成技術論	○●		1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講		○	
専攻 共通科目	建築環境心理生理	●		1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講	○	○	
	建築環境形成論		○●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講		○	
	建築生産論	○		1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講	○	○	
	コンピューターデザイン論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業	関講		○	
	建築防災工学論		●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義			関講		○	
	構造デザイン認識論	○		1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業	関講		○	
	統計解析法		●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義						
	建築学実習 I	●	●	2	2(※)	選	1・2	半期(前)	実験・実習	※職能教育プログラム(スタジオコース)履修者は「建築学実習 I～III」を履修、合格しなければならない。 ※高度専門プログラム(研究コース)履修者は「建築学実習 I～IV」が履修可能。	工業	イン	○	○	○
	建築学実習 II	●	●	2	2(※)	選	1・2	半期(後)	実験・実習		工業	イン	○	○	○
	建築学実習 III	●	●	2	2(※)	選	1・2	半期(前)	実験・実習			イン	○	○	○
	建築学実習 IV	●	●	2	2	選	1・2	半期(後)	実験・実習		工業	イン	○	○	○
	建築技術・知識演習 I	○	○	1	2	選	1	半期(前)	演習		工業	関演	○	○	○
	建築技術・知識演習 II	●	●	1	2	必	1	半期(後)	演習	在学中に2級建築士を取得した場合は、「建築技術・知識演習 II」の単位を認定する。	工業	関演	○	○	○
建築技術・知識演習 III	○		1	2	選	2	半期(前)	演習		工業	関演	○	○	○	

分野	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必修 選択	配当年	配当期	授業形 態(主)	備考	教職	建築士			
		2022	2023									形態	意匠	設備	構造
専攻 共通科目	インターンシップV	○	○	随時	2	選	1	四半期(前前) 四半期(後前)	実験・実習	「インターンシップV～X」および「建築学専門研修I・II」の中から2科目以上必ず修得すること。 (一級建築士受験資格要件の実務経験2年を取得する場合は、「インターンシップV～X」および「建築学実習I～IV」の中から計14単位以上修得する必要がある。詳細は、(14.一級建築士受験資格要件)にて確認のこと。)		イン	○	○	○
	インターンシップVI	○	○	随時	2	選	1	四半期(前後) 四半期(後後)	実験・実習		イン	○	○	○	
	インターンシップVII	○	○	随時	4	選	1	四半期(後前)	実験・実習		イン	○	○	○	
	インターンシップVIII	○	○	随時	4	選	1	四半期(後後)	実験・実習		イン	○	○	○	
	インターンシップIX	○	○	随時	4	選	2	四半期(前前)	実験・実習		イン	○	○	○	
	インターンシップX	○	○	随時	4	選	2	四半期(前後)	実験・実習		イン	○	○	○	
	建築学専門研修I	●	●	随時	2	選	1・2	半期(前)	実験・実習						
	建築学専門研修II	●	●	随時	2	選	1・2	半期(後)	実験・実習						
	建築設計国際実習	○	○	集中	2	選	1	通年	実験・実習		「建築設計国際実習」は、集中講義で開講	イン	○		
「豊かな 教養」科目	デジタル放送論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義						
	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義						
	ITとビジネスモデルA	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義						
	ITとビジネスモデルB	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義						
研究科 共通科目	科学英語 I	○	○	集中	2	選	1・2	集中	演習	海外英語短期研修 専攻主任が担当する					
	Practical English for Global Engineers	○	○	1	2	選	1	集中	講義	1年生のみ履修可能					
	MOT概論	●		1	2	選	1・2	半期(後)	講義	e-campus科目のため、理工学研究科授業時間に合わせて開講					
	融合技術戦略特論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	「融合技術戦略特論」は、集中講義で開講					
	研究者倫理	○	○	1	2	選	1	半期(前)	講義						

注1) 開講区分欄 「●○」=昼夜開講、「○」=昼間開講、「●」=夜間開講、「随時」=随時開講
注2) イン…インターンシップ科目(実務経験2年の場合は14単位以上、実務経験1年の場合は4単位以上修得のこと。)
開演…インターンシップ関連演習科目(上限8単位)
開講…インターンシップ関連講義科目(上限8単位)

区分	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必選自	配当年	配当期	授業形態 (主)	備考	教職
		2022	2023								
専門研究	情報メディア学特別演習 I A	随時	随時	2	2	必	1	半期(前)	演習		
	情報メディア学特別演習 I B	随時	随時	2	2	必	1	半期(後)	演習		
	情報メディア学特別演習 II A	随時	随時	2	2	必	2	半期(前)	演習		
	情報メディア学特別演習 II B	随時	随時	2	2	必	2	半期(後)	演習		
	情報メディア学特別研究 I A	随時	随時	2	2	必	1	半期(前)	実験・実習		
	情報メディア学特別研究 I B	随時	随時	2	2	必	1	半期(後)	実験・実習		
	情報メディア学特別研究 II A	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(前)	実験・実習	※高度専門プログラム履修者は「情報メディア学特別研究 II A」と「情報メディア学特別研究 II B」の履修が必要である。	
	情報メディア学特別研究 II B	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(後)	実験・実習		
	情報メディア学特別制作A	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(前)	実験・実習	※職能教育プログラム履修者は「情報メディア学特別制作A」と「情報メディア学特別制作B」の履修が必要である。	
情報メディア学特別制作B	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(後)	実験・実習			
メディア	音メディア特論	○		1	2	選	1・2	半期(前)	講義	2023年度以降開講せず	情報
	ビジュアルコンピューティング特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	メディア応用特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	言語メディア特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	デジタル放送論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	共創・デザイン特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	ユーザビリティと心理学	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	インタラクティブCG特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	コミュニケーション音響学	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
情報	人間情報システム特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	ソフトウェアアーキテクチャ特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	IoT特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	デジタル・フォレンジック	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	演習		情報
	サイバーセキュリティ基盤 I	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	サイバーセキュリティ基盤 II	○	○	1	2	自	1・2	半期(前)	講義	集中講義形式	情報
	知的計算システム特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	オペレーティングシステム特論	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	情報セキュリティマネジメントとガバナンス	●	●	1	2	自	1・2	半期(後)	講義		
	セキュアシステム設計・開発	○	○	1	2	自	1・2	半期(後)	演習	集中講義形式	
サイバーディフェンス実践演習	○	○	1	2	自	1・2	半期(前)	演習	集中講義形式		
専攻 共通科目	インターンシップ	○	○	随時	2	選	1・2	随時	実験・実習		
	IT最前線	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
「豊かな教養」科目	都市デザイン論	○●	○●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	建築環境心理生理	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	ITとビジネスモデルA	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	ITとビジネスモデルB	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		
研究科 共通科目	科学英語 I	○	○	集中	2	選	1・2	集中	演習	海外英語短期研修	
	Practical English for Global Engineers	○	○	1	2	選	1	集中	講義	1年生のみ履修可能	
	MOT概論	●		1	2	選	1・2	半期(後)	講義	e-campus科目	
	融合技術戦略特論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	集中講義形式	
	研究者倫理	○	○	1	2	選	1	半期(前)	講義		

※ 修士課程を修了するためには、「高度専門プログラム」または「職能教育プログラム」のいずれかを択一必修として、履修合格しなければならない。
注)開講区分欄 「●○」=昼夜開講、「○」=昼間開講、「●」=夜間開講、「随時」=随時開講

区分	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必選自	配当年	配当期	授業形態 (主)	備考	教職
		2022	2023								
専門研究	情報メディア学特別演習 I A	随時	随時	2	2	必	1	半期(前)	演習		
	情報メディア学特別演習 I B	随時	随時	2	2	必	1	半期(後)	演習		
	情報メディア学特別演習 II A	随時	随時	2	2	必	2	半期(前)	演習		
	情報メディア学特別演習 II B	随時	随時	2	2	必	2	半期(後)	演習		
	情報メディア学特別研究 I A	随時	随時	2	2	必	1	半期(前)	実験・実習		
	情報メディア学特別研究 I B	随時	随時	2	2	必	1	半期(後)	実験・実習		
	情報メディア学特別研究 II A	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(前)	実験・実習	※高度専門プログラム履修者は「情報メディア学特別研究 II A」と「情報メディア学特別研究 II B」の履修が必要である。	
	情報メディア学特別研究 II B	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(後)	実験・実習		
	情報メディア学特別制作A	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(前)	実験・実習	※職能教育プログラム履修者は「情報メディア学特別制作A」と「情報メディア学特別制作B」の履修が必要である。	
情報メディア学特別制作B	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(後)	実験・実習			
メディア	音メディア特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	ビジュアルコンピューティング特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	メディア応用特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	言語メディア特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	デジタル放送論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	共創・デザイン特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	ユーザビリティと心理学	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	インタラクティブCG特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	コミュニケーション音響学	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
情報	人間情報システム特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	ソフトウェアアーキテクチャ特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		情報
	IoT特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	デジタル・フォレンジック	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	演習		情報
	サイバーセキュリティ基盤 I	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	サイバーセキュリティ基盤 II	○	○	1	2	自	1・2	半期(前)	講義	集中講義形式	情報
	知的計算システム特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	オペレーティングシステム特論	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		情報
	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	情報セキュリティマネジメントとガバナンス	●	●	1	2	自	1・2	半期(後)	講義		
	セキュアシステム設計・開発	○	○	1	2	自	1・2	半期(後)	演習	集中講義形式	
サイバーディフェンス実践演習	○	○	1	2	自	1・2	半期(前)	演習	集中講義形式		
専攻 共通科目	インターンシップ	○	○	随時	2	選	1・2	随時	実験・実習		
	IT最前線	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
「豊かな教養」科目	都市デザイン論	○●	○●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	建築環境心理生理	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	ITとビジネスモデルA	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	ITとビジネスモデルB	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		
研究科 共通科目	科学英語 I	○	○	集中	2	選	1・2	集中	演習	海外英語短期研修 専攻主任が担当する	
	Practical English for Global Engineers	○	○	1	2	選	1	集中	講義	1年生のみ履修可能	
	MOT概論	●		1	2	選	1・2	半期(後)	講義	e-campus科目のため、理工学研究科授業時間に合わせて開講	
	融合技術戦略特論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	「融合技術戦略特論」は、集中講義で開講	
	研究者倫理	○	○	1	2	選	1	半期(前)	講義		

※ 修士課程を修了するためには、「高度専門プログラム」または「職能教育プログラム」のいずれかを択一必修として、履修合格しなければならない。
注1) 開講区分欄 「●○」=昼夜開講、「○」=昼間開講、「●」=夜間開講、「随時」=随時開講

区分	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必修 選択	配当年	配当期	授業形態(主)	備考	教職
		2022	2023								
専門研究	ロボット・メカトロニクス学特別研究 I	随時	随時	2	4	必	1	通年	実験・実習		
	ロボット・メカトロニクス学特別研究 II	随時	随時	2	4	必	2	通年	実験・実習		
	特別輪講 I A	随時	随時	1	1	必	1	半期(前)	演習		
	特別輪講 I B	随時	随時	1	1	必	1	半期(後)	演習		
	特別輪講 II A	随時	随時	1	1	必	2	半期(前)	演習		
	特別輪講 II B	随時	随時	1	1	必	2	半期(後)	演習		
情報駆動システム	コンピュータネットワーク特論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	コンピュータシミュレーション特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	最適化法特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	非線形制御特論(英語対応)	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	英語対応:履修者の希望により、英語による授業、または英語による質疑応答への対応を可能とする科目。	工業
	アドバンスコントロール特論(英語対応)	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
メカトロニクス	信号処理特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義	情報駆動システム部門、メカトロニクス部門、ロボット・デザイン部門の科目から8単位以上必ず修得すること。	工業
	アドバンスメカトロニクス特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	計測標準論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	デジタルインターフェース特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	機械設計プロセス特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	電動モビリティ特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
ロボット・デザイン	ロボットインターフェース特論		○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義	2022年度開講せず	工業
	ロボットプランニング特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	知能システム特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	ロボット設計特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
専攻 共通科目	産業別企業研究特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	プロジェクト型ワークショップ	○	○	2	2	選	1	半期(前)	実験・実習		
	インターンシップ	○	○	随時	2	選	1・2	随時	実験・実習		
	ITとビジネスモデルA	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	ITとビジネスモデルB	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		
「豊かな教養」科目	都市デザイン論	○●	○●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	公開科目「豊かな教養」科目部門の科目から2単位以上必ず修得すること。	工業
	建築環境心理生理	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	デジタル放送論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		
	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
研究科 共通科目	科学英語 I	○	○	集中	2	選	1・2	集中	実験・実習	海外英語短期研修	
	Practical English for Global Engineers	○	○	1	2	選	1	集中	講義	1年生のみ履修可能	
	MOT概論	●		1	2	選	1・2	半期(後)	講義	e-campus科目	
	融合技術戦略特論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	集中講義で開講	
	研究者倫理	○	○	1	2	選	1	半期(前)	講義		

注)開講区分欄 「●○」=昼夜開講、「○」=昼間開講、「●」=夜間開講、「随時」=随時開講

区分	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必修 選択	配当年	配当期	授業形態(主)	備考	教職
		2022	2023								
専門研究	ロボット・メカトロニクス学特別研究 I	随時	随時	2	4	必	1	通年	実験・実習		
	ロボット・メカトロニクス学特別研究 II	随時	随時	2	4	必	2	通年	実験・実習		
	特別輪講 I A	随時	随時	1	1	必	1	半期(前)	演習		
	特別輪講 I B	随時	随時	1	1	必	1	半期(後)	演習		
	特別輪講 II A	随時	随時	1	1	必	2	半期(前)	演習		
	特別輪講 II B	随時	随時	1	1	必	2	半期(後)	演習		
情報駆動システム	コンピュータネットワーク特論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義	英語対応:履修者の希望により、英語による授業、または英語による質疑応答への対応を可能とする科目。 情報駆動システム部門、メカトロニクス部門、ロボット・デザイン部門の科目から8単位以上必ず修得すること。	工業
	コンピュータシミュレーション特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	最適化法特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	非線形制御特論(英語対応)	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	アドバンスコントロール特論(英語対応)	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
メカトロニクス	信号処理特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		
	アドバンスメカトロニクス特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	計測標準論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	デジタルインターフェース特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	機械設計プロセス特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	電動モビリティ特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	2021年度新設科目	工業
ロボット・デザイン	ロボットインターフェース特論		○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	ロボットプランニング特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
	知能システム特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		工業
	ロボット設計特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		工業
専攻 共通科目	産業別企業研究特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	プロジェクト型ワークショップ	○	○	2	2	選	1	半期(前)	実験・実習		
	インターンシップ	○	○	随時	2	選	1・2	随時	実験・実習		
	ITとビジネスモデルA	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	ITとビジネスモデルB	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		
「豊かな教養」科目	都市デザイン論	○●	○●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	公開科目「豊かな教養」科目部門の科目から2単位以上必ず修得すること。	
	建築環境心理生理	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
	デジタル放送論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	講義		
	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	講義		
研究科 共通科目	科学英語 I	○	○	集中	2	選	1・2	集中	実験・実習	海外英語短期研修 専攻主任が担当する	
	Practical English for Global Engineers	○	○	1	2	選	1	集中	講義	1年生のみ履修可能	
	MOT概論	●		1	2	選	1・2	半期(後)	講義	e-campus科目のため、理工学研究科授業時間に合わせて開講	
	融合技術戦略特論		○	1	2	選	1・2	半期(前)	講義	「融合技術戦略特論」は、集中講義で開講	
	研究者倫理	○	○	1	2	選	1	半期(前)	講義		

注1) 開講区分欄 「●○」=昼夜開講、「○」=昼間開講、「●」=夜間開講、「随時」=随時開講

注2) 「公開科目」は、本学大学院生以外の一般社会人向けに受講生募集を行っている科目。